

# 松山市商業振興対策事業委員会視察研修レポート

平成27年11月8日(日)・9日(月)、松山市商業振興対策事業委員会主催の商店街視察・研修が行われました。

松山銀天街第一商店街振興組合をはじめ、10組合の組合員と松山市地域経済課、松山商工会議所から、あわせて29名が参加しました。



## 表町商店街インバウンド対策事業

## 岡山市中之町街づくり株式会社

今後、岡山市の人口は5年後をピークに減少が想定される中、商店街への流動人口を増やすための取り組みとしてインバウンド対策が始まりました。平成26年10月から免税対象品目が全品目に拡大。さらに平成27年4月より、商店街などにおける免税手続き二括カウンター制度が実現。個店の手続きの負担が軽減されることで、免税店になるハードルがぐんと下がりました。しかし、次の問題は、その一括免税カウンターを商店街のどこに設置するか。いきなり空き店舗を活用するのはリスクが高い。表町商店街の場合は、幸いにも天満屋の協力があがり、館内に一括免税カウンターの設置が実現しました。商店街

**「一括免税カウンター」設置への取り組み**



**中** 国人観光客の爆買いが話題となるなど、今や海外からの観光客を誘致するインバウンド対策は商店街にとっても重要な課題。そこで、商店街として全国で初めて一括免税カウンターを設置した協同組合連合会岡山市表町商店街連盟の事業推進部長・矢部久智さんにお話をうかがっていました。

天満屋とのルールとしては、次のように申し合わせています。  
 ●買い物客は、商店街の免税店で合計1万円以上購入し、そのレシートを一括免税カウンターへ提出、申請すると免税を受けられる。  
 ●免税店は、レシートに「店名」「電話番号」の記載がない場合はゴム印を押すなど、販売店舗がわかるようにする。



において一括免税カウンターを設置するためには、このように核となる施設の絶対的な協力が不可欠です。  
**免税店になる準備、運用に向けて**  
 平成27年4月、表町商店街連盟の組合員に向けて免税店舗募集を告知。5月11日に実施した勉強会には53店舗が参加し、同月15日、そのうちの23店舗が申請。わずか一週間後の22日には20店舗が免税店の許可を受けました。そして5月28日、異例の速さで天満屋に一括免税カウンターがオープン。全国初の免税商店街として、外国人客の受け入れがスタートしました。

平成27年5月28日、当初20店舗だった免税店は、視察研修に訪れた11月8日現在で37店舗に増えました。事業の効果もあり、外国人観光客は以前より増えましたが、「免税店がわかりにくい」という課題もそこで、表町商店街では免税店が一目でわかる商店街マップや免税手続き方法を明記した英語のパンフレットを作成、配布しPRに努めています。さらに、それぞれの免税店でも、「免税店シンボルマーク」を店頭に表示することはもちろん、手作りのポップやボードを置いたり、外国人観光客が店に入りやすくなる

**免税商店街をPRしていくために**



●レシートに具体的商品名が記載されない場合、レシートの部門等の表記の横に商品名等を記入し、整理・処理しやすいようにする。  
 ●月末締めで精算を行い、免税店は、税金と手数料を天満屋に支払う。

明治時代から繊維の町として知られる岡山県児島地区は、1960年代、国内で最初にジーンズ生産を手がけたことで有名。児島ジーンズストリートは、かつて児島で最も栄えた味野商店街の400mほどの通りに、ジーンズを扱う店が軒を連ねています。地元メーカーや児島商工会議所による協議会が味野商店街の空き店舗への誘致活動として取り組んでおり、現在はカフェなど飲食店も約30店舗が出店しています。



郊外型SCやネット通販などの台頭により、集客や個店の売り上げも厳しい状況が続いていた表町商店街。現状の組合という組織に加え、街づくりに特化した組織の必要性を感じ始めていました。駅前地域に進んでいた大型商業施設の建設も一つの契機となり、「自らが商店街を変えなければ」という意識のもと「岡山市中之町街づくり株式会社」を設立。

**設立の経緯**



**平** 成25年10月、400年以上の歴史を誇る岡山市表町商店街に、協同組合中之町商店街が100%出資した街づくり会社「岡山市中之町街づくり株式会社」が設立されました。「行きたくない住みたい街」を経営理念とし、推し進めている商店街活性化事業について、代表取締役社長であり、岡山市表町商店街連盟常務理事、中之町商店会理事長を務める片山進平さんにうかがいました。

表町商店街の中心を意味する施設として整備。平成28年2月にリノベーションを実施し、レンタルスペースを充実させました。木のぬくもりを感じられるゆったりとした空間にはプロジェクトやスピーカー、ピクチャーレールなどを備えており、ギャラリートalkや会議、カルチャー教室、ショップ、展示会など様々な用途に利用可能。街と人々との役割を担っています。

**SUNDAY TENTWORKER**  
 毎週日曜限定で、商店街にテントのお店が並びサンデーテントワール

**表町・コモン**

人々が街に行きたくなくなる仕掛けを継続的に創りあげるとともに、街を訪れた人々がずっと居たいと思える楽しく快適なサービスを提供。この街で働きたい、住みたいと思ってもらえるような、人情味溢れる街づくりを目指しています。

表町商店街にある中之町商店街では、街を盛り上げるべくファッションイベントを開催。婦人服、子ども服、着物、スポーツなど商店街の店舗に参加してもらい、一押しのコピーネットを纏ったマネキンを展示したり、実際にモデルが着用して商店街に特設したレッドカーペットにてファッションショーを行います。

**中之町しゃれとロード**

岡山県内を中心にグルメ、物販など様々なトピックスが表町に集結します。西栗倉村の間伐材、児島のデザインを使用したオリジナルテントで統感を演出。新規顧客の獲得、そして出店者、既存店主、企画者という三者のコミュニケーションを主たる目的としており、イベントへの出店者が空き店舗への新規出店につながるケースもあります。

岡山駅前地域にオープンした大型商業施設。商店街への客足の減少が懸念されましたが、良好な関係を築いています。今までは岡山駅前地域に足を運ぶことが少なかった客層がイオンに訪れているので、そのお客様を表町商店街まで呼ぶ仕組みづくりが今後の課題。

**イオンモール岡山**

空洞化が深刻な状況にある商店街の2階、3階部分の有効活用を目的としてこのプロジェクトを立ち上げました。商店街が地権者との事前交渉を行い、テナントマッチングに関わっていくことで無理な出店を防ぎ、持続可能な試算の元「テーマコンセプト」を決め、その場所の新しい価値を生み出していくことが狙いです。リノベーションという手法を用い、新しい考え方で遊休物件を活用。地権者とテナント双方のメリットを追求すると共に商店街の活性化につながっていきます。

